



令和7年度

友愛の信

(柳城中学校だより)

第7号 令和7年11月20日発行 文責 校長 古賀俊文

学習・スポーツ・文化と生徒が多方面で活躍しています

校舎とグランドの境には金木犀が植えられ、先日までとてもいい香りを届けてくれました。10月下旬から、大変涼しくなり、やっと秋本番を迎えた模様です。様々な活動に適した季節となり、本校の生徒も、部活動や生徒会活動を中心に様々な活動に取り組んでいます。



市音楽発表会（10/4）

10月には、中文連（中学校文化連盟）の行事がありました。音楽発表会には吹奏楽部が出場し、水都の大ホールで、20分間4曲を演奏しました。生徒たちは、このステージを目標に練習に励んできましたことだと思います。吹奏楽部は、先日の音楽文化発表会のほか、筑後市の「ちっご祭り」にも出演しました。これまでたくさんの演奏を聴かせてくれ、3年生は中学生としての演奏活動を終えました。吹奏楽部の部長は、「初めは気楽な気持ちで入部したけど、つらいことも多かったです。しかし、コンクールに出場したりいろんな催しに呼んでもらったりして、うれしいこともたくさんありました。活動を終えた今は、物足りなさを感じています。」と話してくれました。



スケッチ大会（10/9）

水天宮周辺で、中文連スケッチ大会を行いました。本校の美術部員も思い思いの場所でスケッチに取り組んでいました。今年は大変天気がよく、生徒たちは気持ちよく絵を描くことができたと思います。時折、観光客の方に話しかけられ、観光地「柳川」ならではの光景も見られました。美術部の部長は、「スケッチ大会では、他校の生徒とも話せて、よい経験になった。来年に向けては、先輩が描いた体育祭のスローガン旗がとてもすごいと感じているので、みんなに喜んでもらえるスローガン旗を描きたい」と話してくれました。

合同作品展（10/23～11/4）

水都において中文連合同作品展を行いました。市内6校の美術や家庭科の作品。理科の自由研究などが展示されました。本校からも、音楽文化発表会で展示了した、家庭部の作品をはじめ数多くの作品を展出しました。家庭部の部長はこれまでの活動を振り返って、「家庭部の部長としていろんな役割を経験させてもらいました。初めは不安しかなかったけど、実行委員として「音文」に関わったり、展示作品について発表したりする中で、もともとは苦手だったみんなの前での話も、緊張せず自分らしくできてうれしかった。」と話してくれました。

生徒同士の力で

生徒会スローガン～『繋ぐ』～

道守清掃活動に参加しました



「道守柳川ネットワーク」が主催する清掃活動に、男女テニス部の生徒と生徒会役員の有志が参加しました。柳城中の担当は、柳川高校前の横断歩道から鬼童町交差点周辺までの道路と歩道で、そのほかに、テニスコート横の柳川高校との間の道や、へそくり山へ登る3か所の通路も清掃してくれました。落ち葉を掃いて歩道をきれいにすることがほとんどでしたが、この季節、落ちているたくさんのぎんなんと格闘してくれた生徒もいました。



柳川みらい会議に7名の生徒が参加

新聞等でも取り上げられていました「柳川みらい会議」に、本校から7名の生徒が参加しています。この会議には市内の中学生が参加しており、柳川市の課題についての講義を聴き、そこから課題を見つけます。課題ごとに他校の生徒も交えてグループを編成し、課題解決策をグループで考えていきます。2月に報告会が開催されますが、その会は、市議会の議場で、市長も参加される中で行われる予定と聞いています。柳川市としても初めての試みで、どのような解決策が報告されるのか、とても楽しみです。

南筑後英語スピーチコンテストに2名の生徒が参加しました（11/8）

県教育委員会主催の英語スピーチコンテスト（南筑後大会）が、八女市上陽町で開催され、2年生の生徒2名が「自由の部」に応募し参加しました。自由の部は、身近な話題について事実や自分の考えなどをまとめた英語原稿を作成し、スピーチ発表を行うものです。2人は、普段の生活や今住んでいる町をテーマに、スピーチしました。当日はたくさんの聴衆の前で、堂々とスピーチできたようでした。進んで参加したその意欲にも拍手を送りたいです。

中体連大会 県新人陸上競技大会に4種目7名が出場しました（10/11）



陸上部は、地区大会で上位入賞した生徒が、多くの森陸上競技場で行われた県大会に出場しました。今回は7名の生徒が大舞台に立ってくれました。自分の力が発揮できたでしょうか。レベルの高い大会の経験を、今後につなげてほしいです。

【あいさつ】 【そうじ】 【聞く・聴く】 【話す】

☆地域で・家庭で・保育園で・幼稚園で・小学校で・中学校で
校区の子どもたちを育てましょう

柳城中学校区スタンダード